

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート東海とよた		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の質の向上	個別支援計画の作成にあたり、職員間で支援会議を実施し、専門職の視点や各職員の意見を積極的に取り入れています。外部の専門職(相談支援専門員・心理士等)に依頼し、支援場面の観察および事例検討を行い、客観的な視点を取り入れています。	利用者の行動の背景を分析するために「氷山モデル」を活用し、表面的な行動だけでなく、その背景要因やニーズを丁寧に捉える支援計画の作成に努めます。
2	活動・イベントの質向上	定期的なミーティングにおいて活動内容やイベント企画について意見交換を行い、職員全員が主体的に関われる体制を整えています。	子どもの興味関心や発達段階を踏まえた活動内容となるよう、振り返りの機会も設けていきます。
3	記録・情報共有の質向上	写真を掲載し、支援内容を視覚的に分かりやすく伝えるよう工夫しています。また、5領域を踏まえた支援目的を明確に記載し、支援の意図が伝わる記録を心がけています。さらに、支援のアプローチ方法や具体的な関わり方、その結果についても整理し、誰が見ても理解しやすい記録作成を意識しています。	保護者様対応時には、メール文面や対面時の言葉遣いにも配慮し、安心して相談できる環境づくりを意識しています。また、SNS(Instagram)を活用し、事業所の取組を分かりやすく発信しています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域支援・地域連携	地域とのつながりを広げたいと考えているものの、どの機関とどのように連携を深めていくべきかが明確でない部分があります。	他事業所との連携は、共同イベント開催等を通して積極的に取り組んでいます。今後は、連携の輪を広げるとともに、継続的な関係構築を目指します。
2	保護者向け研修・父母会の開催	実施したい意向はあるものの、 ・駐車場の確保 ・保護者の就労状況 ・週末は家族時間を優先される家庭が多い など、現実的な課題があります。	相談支援専門員を講師に招いた勉強会の開催を検討しています。また、年度初めに職員紹介を兼ねた茶話会の開催を検討し、保護者同士や職員との交流の機会を設けます。開催方法についてはアンケートを実施し、 ・学区ごとの小規模開催 ・参加しやすい時間帯の設定 など、参加しやすい環境づくりを行います。
3	PDCAサイクルの徹底	日々の支援業務を優先する中で、目標設定や振り返りの時間確保が不十分になることがあります。また、全員参加にこだわりすぎた結果、実施の機会を逃すケースもありました。	事業所全体としての明確な目標設定を行い、PDCAサイクルを意識した運営を進めます。職員全員の意見を吸い上げられる環境づくりを行い、話しやすい風土の醸成を目指します。外部専門職による観察や事例検討の導入も検討し、支援の客観性向上を図ります。